

研究課題名	自己免疫疾患における自己抗体の自己抗原認識機構の解明
研究の意義・目的	自己免疫疾患（じこめんえきしっかん）とは、異物を認識し排除するための役割を持つ免疫系が、自分自身の正常な細胞や組織に対してまで過剰に反応し攻撃を加えてしまうことで症状を来す疾患の総称です。この研究は自己免疫疾患という病気の特徴的に増えてくる自己抗体の産生機構や病気との関わりを血液から取り出した抗体や細胞を調べることによって解明し、より正確な診断やより有効な治療ができるようにしようとするものです。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2027年3月31日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2008年4月1日から2027年3月31日に大阪公立大学医学部附属病院の皮膚科で、関節リウマチ、SLE、皮膚筋炎、シェーグレン症候群、ANCA 関連血管炎、バセドウ病、橋本病、天疱瘡、白斑等の自己免疫疾患、膠原病、膠原病類縁疾患もしくは皮膚科にて診断または治療時に残余検体がでる方が対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 試料：【皮膚、血液】 診療情報等：【診断名、年齢、性別、治療歴】
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関花王株式会社生物科学研究所へ提供します。 また皮膚細胞の遺伝子発現解析は大阪大学微生物病研究所、山口大学大学研究推進機構・遺伝子実験施設で委託解析します。
この研究を行っている共同研究機関	所属：大阪公立大学医学部色素異常症治療開発共同研究部門 氏名：楊 伶俐 所属：大阪公立大学医学部皮膚病態学 氏名：鶴田 大輔 所属：花王株式会社生物科学研究所 氏名：高橋 慶人 所属：富山大学大学院医学薬学研究部皮膚科学講座 氏名：清水 忠道 所属：東京医科歯科大学皮膚科 氏名：並木 剛
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科・色素異常症治療開発共同研究部門・研究代表者 楊 伶俐
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究は、花王株式会社より研究資金の提供を受け実施しています。また実施分担者の黒田康嵩、横田将史は大阪公立大学の研究員で、本研究の観察研究のデータ管理、統計・解析に従事しますが、花王株式会社の社員でもあります。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 色素異常症治療開発共同研究部門 黒田 康嵩 電話番号：(06) 6556-7618 メールアドレス：kuroda.yasutaka@omu.ac.jp